



2025 年 7 月 18 日

各 位

会 社 名 株式会社エンバイオ・ホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 中村 賀一
(コード番号：6092 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 経 理 部 長 田中 雅弘
T E L 03-5297-7155 (代表)

共同出資による新会社設立に関するお知らせ

～脱炭素社会の実現に向けて～

当社は、本日開催の取締役会において、NEXT-e Solutions 株式会社（代表取締役/井上真壮 本社/東京都世田谷区、以下「NEXT-eS」といいます。）と共同出資により新会社を設立することとなりましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 新会社設立の背景と目的

当社は、1999 年の創業以来、環境保全に貢献する事業に継続して取り組んでまいりました。土壌汚染をエンジニアリングで解決する土壌汚染対策事業、汚染された土地の有効活用を目指すブラウンフィールド活用事業、太陽光発電などによる自然エネルギー事業です。汚染地の再生とは別の切り口で土地を有効活用するアプローチとして開始した自然エネルギー事業では、現在 100MW の早期達成を目指し、国内外で 55 ヵ所、55MW の発電所が稼働中、インドネシアの稼働中太陽光発電所を含めると 73MW まで積み上がっております。現在建設中、建設予定を含めると、発電所規模は更に積み上がっております。今後の成長戦略として調整力（蓄電所）への参入は不可欠であり、市場調査を続けてまいりました。また、当社グループ内での太陽光発電所 EPC の実績も積み上がってきており、施工ノウハウ、知見を蓄積しており、直近では物流施設の屋根上太陽光発電所において、EPC から発電事業までを一気通貫で取り組んでまいりました。

NEXT-eS は、2008 年の創業以来、リチウムイオン電池を効率的に制御するための先進的なデバイスを自社開発し、同デバイスを搭載した各種蓄電池製品の設計・生産を行っているエネルギーテック企業です。独自の制御技術は、蓄電池システムの長寿命化・高効率化を可能にし、再生可能エネルギーの普及に伴い設置が進む系統用蓄電所にも採用されています。「持続可能なモノづくりで、未来永劫続くエネルギーサービスを実現する」というビジョンのもと、NEXT-eS はエネルギーの未来を切り拓く挑戦を続けています。

両社の技術とノウハウや知見を組合せ、既設事業である太陽光発電所の EPC に加え、「系統用蓄電所」「太陽光発電所併設蓄電所」の開発、EPC、運営、管理等を行ってまいります。また、ブラウンフィールド活用事業との連携により、今後の案件開発に高いシナジー効果が見込まれます。

新会社を通じて、太陽光発電、系統用蓄電所の普及を推進し、脱炭素社会の実現に向けた社会的責任を果たしてまいります。

2. 設立する新会社の概要

(1) 名 称	株式会社エンバイオ・ネクテス（予定）	
(2) 所 在 地	東京都千代田区（予定）	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 横溝 透修	
(4) 事 業 内 容	蓄電システムの建設工事請負・販売 など	
(5) 資 本 金	4 千万円（予定）	
(6) 設 立 年 月 日	2025 年 8 月下旬（予定）	
(7) 大株主及び持株比率	株式会社エンバイオ・ホールディングス 90% NExT-e Solutions 株式会社 10%	
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	当社が 90%出資する子会社として設立する予定です。
	人的関係	当社役職員及び当社子会社役員が当該子会社の取締役、監査役を兼務する予定です。また、当社子会社従業員が当該子会社に出向する予定です。
	取引関係	当社との業務委託契約を予定しております

3. NExT-e Solutions 株式会社の概要

(1) 名 称	NExT-e Solutions 株式会社
(2) 所 在 地	東京都世田谷区若林 1-18-10 京阪世田谷ビル 6F
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 井上 真壮
(4) 事 業 内 容	リチウムイオンバッテリーの次世代バッテリーマネジメントシステム（BMS）及びバッテリー関連モジュールの開発・製造・販売
(5) 資 本 金	1 億円（2025 年 3 月 31 日現在）
(6) 設 立 年 月 日	2008 年 5 月 8 日

4. 日程

(1) 取締役会決議日	2025 年 7 月 18 日
(2) 新会社設立日	2025 年 8 月下旬（予定）

5. 今後の見通し

本件が 2026 年 3 月期の当社連結業績に与える影響は軽微であります。なお、今後の業績に与える影響については、来期以降の業績予想に織り込んでまいります。

以 上